

学術集会関連行事

1. てんかンをめぐるアート展 2017

日本てんかん学会は昨年、てんかんのある人と支える人のアート作品を一般公募し、「てんかンをめぐるアート展」を開催し好評を博しました。今年は 11 月 1 日（水）～5 日（日）に、京都で第 51 回日本てんかん学会学術集会と重ねて、第 2 回のてんかンをめぐるアート展を京都大学総合博物館にて開催いたします。

※参加証をご提示いただくことで、無料でご入館いただけます。

詳細は展覧会 HP (<http://www.c-linkage.co.jp/jes51/art.html>) をご参照ください。

(参加証をお持ちでない場合は別途入館料が必要となります。)

2. 第 14 回迷走神経刺激療法 (VNS) 技術講習会

日時：2017 年 11 月 5 日（日）8：30～11：30（受付 8：00～）

会場：第 3 会場（国立京都国際会館 Room B-1）

【第 1 部：8：30～10：00】

講師：福岡山王病院てんかん・すいみんセンター 重藤 寛史
迷走神経刺激療法概要/適応基準/フォローアップと刺激調整

【第 2 部：10：10～11：30】

講師：近畿大学医学部附属病院脳神経外科 加藤 天美
植え込み手技/実技

3. 共催セミナー・スポンサードシンポジウム・プレ/ポストコンgresセッション

ランチョンセミナー 1 第 1 会場 (Room A) 第 1 日/11 月 3 日(金) 12:10~13:00

てんかん診療における最新の話題~てんかん治療ガイドライン 2017~

座長: 辻 貞俊 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部)

LS1-1 改訂のポイント I: 新規発症てんかんの薬物選択

○山野 光彦

東海大学医学部神経内科学

LS1-2 改訂のポイント II: 妊娠と抗てんかん薬

○赤松 直樹

国際医療福祉大学医学部神経内科・福岡保健医療学部/福岡山王病院脳神経機能センター神経内科

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 2 第 2 会場 (Room D) 第 1 日/11 月 3 日(金) 12:10~13:00

ペランパネルの臨床的ポジションを見定める

座長: 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

LS2-1 抗てんかん薬新時代におけるペランパネル

○加藤 天美

近畿大学医学部脳神経外科

LS2-2 ペランパネルのクリニカルクエスト

○兼子 直

湊病院北東北てんかんセンター

共催: エーザイ株式会社

ランチョンセミナー 3 第 3 会場 (Room B-1) 第 1 日/11 月 3 日(金) 12:10~13:00

女性とてんかん

座長: 渡辺 雅子 (新宿神経クリニック)

LS3-1 大規模データからの知見

○大谷 英之

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

LS3-2 日常診療において知っておくべきこと

○原 恵子

原クリニック

共催: 大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー 4 第 4 会場 (Room B-2) 第 1 日/11 月 3 日(金) 12:10~13:00

新型 VNS で薬剤抵抗性てんかん治療は変わるのか?
 ~発作時頻拍検出によるオート刺激がもたらす効果~

座長: 山本 貴道 (聖隷浜松病院)

LS4-1 Advancing the Treatment of Drug-resistant Epilepsy through Vagus Nerve Stimulation.

○Ahmed T. Abdelmoity

Pediatrics, University of Missouri-Kansas City School of Medicine

LS4-2 Early experience of the new VNS device, AspireSR responding to ictal tachycardia

○山本 貴道

聖隷浜松病院脳神経外科

共催: 日本光電工業株式会社/LivaNova Japan K.K.

ランチョンセミナー 5 第 1 会場 (Room A) 第 2 日/11 月 4 日(土) 12:10~13:00

座長: 森岡 隆人 (福岡市立こども病院てんかんセンター/脳神経外科)

LS5 変貌する抗てんかん薬治療選択肢—新規薬剤の有効性と安全性の考察

○山本 貴道

聖隷浜松病院/てんかんセンター

共催: 第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー 6 第 2 会場 (Room D) 第 2 日/11 月 4 日(土) 12:10~13:00

座長: 中村 公俊 (熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野)

LS6 てんかんに潜在するゴーシェ病 病態と早期診断・治療の意義

○重松 秀夫

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

共催: シャイアー・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 7 第 3 会場 (Room B-1) 第 2 日/11 月 4 日(土) 12:10~13:00

座長: 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科学)

LS7 Management of Tuberous Sclerosis Complex (TSC), Multidisciplinary Care System of TSC

○Anna Jansen

Pediatric Neurology Unit, Department of Pediatrics, UZ Brussel, Belgium

共催: ノバルティス ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 8 **第 4 会場 (Room B-2)** **第 2 日/11 月 4 日(土)** **12:10~13:30**

座長：松浦 雅人 (田崎病院)

LS8 **難治てんかんの薬物療法**

○赤松 直樹

国際医療福祉大学医学部神経内科・福岡保健医療学部/福岡山王病院脳神経機能センター神経内科

共催：協和発酵キリン株式会社

ランチョンセミナー 9 **第 1 会場 (Room A)** **第 3 日/11 月 5 日(日)** **11:40~12:30**

座長：浜野 晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

LS9 **點頭てんかんにおけるピガバトリン治療の実際**

○下野 九理子

大阪大学大学院連合小児発達学研究所

共催：アルフレッサ ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 10 **第 5 会場 (Room I)** **第 3 日/11 月 5 日(日)** **11:40~12:30**

座長：白石 秀明 (北海道大学病院小児科/北海道大学病院てんかんセンター)

LS10 **脳磁図 (MEG) は、てんかん外科手術成績向上に寄与するか？**

一定位的深部脳波記録 (SEEG) 50 例との関連から一

○村上 博淳

新潟県厚生連佐渡総合病院脳神経外科

共催：エレクトラ株式会社

スポンサードシンポジウム **第 2 会場 (Room D)** **第 3 日/11 月 5 日(日)** **10:30~12:30**

興奮性アミノ酸とてんかん～基礎から臨床～

座長：岡田 元宏 (三重大学医学部精神神経科学)

丸 栄一 (日本医科大学千葉北総病院脳神経外科)

第 1 部 NMDA の基礎と臨床
SS1-1 **<基礎>**

○笹 征史

渚クリニック

SS1-2 **<臨床>**

○飯塚 高浩

北里大学医学部神経内科学

第 2 部 AMPA の基礎と臨床**SS2-1 <臨床>**

○西田 拓司

独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター精神科

SS2-2 <基礎>

○高橋 琢哉

横浜市立大学大学院医学研究科生理学

共催：エーザイ株式会社

プレコングレスシンポジウム グランドプリンスホテル京都 ゴールドルーム 前日/11月2日(木) 16:30~18:30

座長：八木 和一（静岡てんかん・神経医療センター名誉院長）

PC-1 日本のてんかん治療研究の歩み

○兼子 直

湊病院北東北てんかんセンター

座長：田中 達也（やまびこ医療福祉センター）

PC-2 The ILAE at the Frontier in Clinical and Basic Research in Epilepsy

○Samuel Wiebe

国際抗てんかん連盟、University of Calgary

共催：公益財団法人てんかん治療研究振興財団

プレコングレス脳波解析ハンズオン 第 5 会場 (Room I) 前日/11月2日(木) 15:00~18:00

【概要】

これまで脳波の複雑な解析をしたことがなく、デジタル脳波の解析に興味がある主として臨床医を対象に広帯域脳波解析、特にてんかん発作における DC シフトや高周波律動の解析をその理論的な背景の概説とともに実際の脳波データと解析用 PC を使用したハンズオン形式で行います。

【到達目標】

日本におけるデジタル脳波解析の裾野を広げ、若い臨床研究者にとって近づきやすいものとするを目標とします。また、このような解析ができる高品質な脳波記録の重要性を認識していただき、今後のてんかん臨床に役立てていただけることを目指します。

第 1 部 臨床のための脳波解析の基礎知識

てんかん発作時の wide-band EEG（発作時 DC 電位・HFO の意義）

H01-1 ○井内 盛遠

京都市立病院

Wide-band EEG 解析の原理・原則**H01-2** ○松橋 眞生

京都大学大学院医学研究科附属脳機能総合研究センター

高密度脳波計測の臨床応用**H01-3** ○藤井 正美

山口県立総合医療センター脳神経外科

第 2 部 てんかん発作時 DC/HFO の解析ハンズオン

講師：井内 盛遠、松橋 眞生、中谷 光良、村井 智彦

脳波解析端末 8 台（各端末に 1-3 人の受講者）

共催：日本光電株式会社、株式会社ミュキ技研、文部科学省新学術領域研究「非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解」、日本医療研究開発機構 (AMED) 難治性疾患実用化研究事業「難治性てんかん病態におけるグリア機能の解明と診療ガイドライン作成の研究」

ポストコンGRESS①**第 2 会場 (Room D) 第 3 日/11 月 5 日(日)****13 : 00~18 : 30****Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy****【概要】**

デジタル脳波計による波形データの解析は単なる視察を超えた様々な解析を可能とし、てんかん焦点の探索や脳機能のマッピング、ブレイン・マシンインターフェースなど様々な利用されています。この分野は数学・情報学・理工学など基礎系・理論系の研究者と臨床系研究者とが密接にかかわりあいながら発展しており、その成果の一端を示しながら、今後の発展や臨床応用、新たなアイデアなどを話し合う場となることを期待します。

【企画の到達目標】

この学際的企画を通じて、基礎・理論系の研究者がてんかん研究に、そして臨床家が最新の信号解析法や数学理論などに対する興味を持つことで、てんかん病態・脳機能の解明と解析法の臨床応用へ向けて、双方の協力関係がさらに発展することを目標とします。

13 : 00~13 : 05**Opening Remarks : Prof. Akio Ikeda****13 : 05~15 : 05****Session 1 : Advanced ECoG/EEG analysis for probing brain functions**

Chair : Prof. Shozo Tobimatsu, Prof. Atsuo Fukuda

PT1-1-1 Advancing Passive ECoG-Based Brain Mapping

Dr. Gerwin Schalk

National Center for Adaptive Neurotechnologies, Albany, NY, USA

Talk 30min, Discussion 10min

PT1-1-2 Real-time ECoG Mapping and Decoding for Neurosurgical Strategy

Prof. Kyosuke Kamada
Asahikawa Medical University, Asahikawa, Japan
Talk 30min, Discussion 10min

PT1-1-3 Cortico-cortical evoked potentials & spectral responses to probe connectivity and cortical excitability

Dr. Riki Matsumoto
Dept. Neurology, Kyoto University, Kyoto, Japan
Talk 30min, Discussion 10min

15 : 05~15 : 35

Break and Poster viewing

15 : 35~17 : 25

Session 2 : Advanced ECoG/EEG analysis for probing epileptogenicity

Chair : Prof. Amami Kato, Prof. Hitoshi Yamamoto

PT1-2-1 The complex road from intracerebral to scalp EEG

Prof. Jean Gotman
MNI, Montreal, Canada
Talk 30min, Discussion 10min

PT1-2-2 Permutation entropy and transcripts in epileptic seizure time-series data

Dr. Kohei Nakajima
Tokyo University, Tokyo, Japan
Talk 30min, Discussion 10min

PT1-2-3 Wideband ECoG analysis and modeling of seizure generation

Dr. Masao Matsushashi
HBRC, Kyoto University, Kyoto, Japan
Talk 20min, Discussion 10min

17 : 25~17 : 30

Closing Remarks : Prof. Taketoshi Maehara

17 : 30~18 : 30

Reception with Poster viewing

Cosponsored by

JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas “Neuro-oscillology”, g.tec medical engineering GmbH, Miyuki Giken Co., Ltd, NIHON KOHDEN CORPORATION, Unique Medical Co., Ltd.